# 常設型転落防止システム「アクロバット」のご提案

株式会社G-Place 設備資材事業グループ



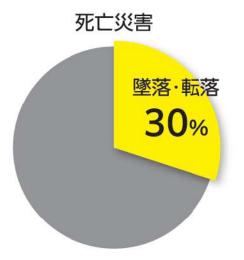
作成:2024年1月

### 日次

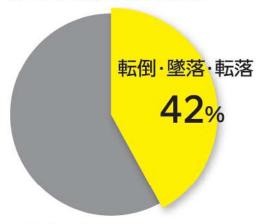
日本の現状	垂直型ワイヤータイプ
・墜落・転落による事故が多い日本・・・・・・ P.3	・垂直型ワイヤータイプの特長 ・・・・・・ P.2
・フルハーネス型の着用義務化へ・・・・・ P.4	・垂直型ワイヤータイプの基本構成・・・・・ P.22
・なぜ「安全帯」が「墜落制止用器具」に?・・・・P.5	・あらゆるタラップに対応 ・・・・・・ P.23
より有効な転落防止対策	・スライダーのロック機能で疲労軽減 •••• P.24
・フルハーネスの着用だけで対策は十分? • • • P.6	・頂上部での安全な脱着が可能 ・・・・・・ P.2!
・もう一つの転落防止対策・・・・・・・ P.7	・垂直型ワイヤータイプの導入事例 ・・・・ P.20
・二段構えの対策を!・・・・・・・・・・P.8	<u>懸垂型ワイヤータイプ</u>
「アクロバット」について	・懸垂型ワイヤータイプの特長・・・・・ P.27
・常設型転落防止システム「アクロバット」・・・・・ P.9	・懸垂型ワイヤータイプの基本構成・・・・ P.28
- 「Akrobat (アクロバット)」とは? · · · · · · · · P.10	・固定先に合わせた個別設計・・・・・ P.29
・製品としてのアクロバットの特長・・・・・・ P.11	・システム全体に衝撃吸収機構あり・・・・ P.30
・「アクロバット」の製品一覧 ・・・・・・・・・ P.12	<ul><li>・掛け替えが不要!・・・・・・・・・・ P.3</li></ul>
水平型ワイヤータイプ	・懸垂型ワイヤータイプの導入事例 ・・・・ P.32
・水平型ワイヤータイプの特長 ・・・・・・ P.13	その他製品
・水平型ワイヤータイプの基本構成・・・・・ P.14	・AK Davits (懸垂型支柱シリーズ)・・・・・ P.33
·自由な配置設計が可能 ······· P.15	・レールタイプ(水平・垂直・懸垂)・・・・・ P.34
・システム全体に衝撃吸収機構あり・・・・・ P.16	・キャットウォーク(歩廊)・・・・・・ P.3!
・強度について(引張試験)・・・・・・・ P.17	・ハンドレール(手すり・柵)・・・・・・・ P.30
・強度について(落下阻止性能試験)・・・・・ P.18	
・掛け替えが不要!・・・・・・・・・・・・・・P.19	·補足説明······ P.3
・水平型ワイヤータイプの導入事例・・・・・ P.20	·お問合せ先····· P.38



### 墜落・転落による事故が多い日本



休日4日以上の死傷災害



死亡者数 774人(前年比-28人)

うち、墜落・転落による死亡

234人(前年比+14人)

死傷者数 132,355人(前年比+1,199人)

うち、転倒・墜落・転落による死傷

55,915人(前年比+4,009人)

#### 【令和4年 事故の型別労働災害発生状況】

出典:厚生労働省令和4年労働災害発生状況

#### 死亡・死傷災害 減らない現状



製造業・建設業 「<mark>墜落・転落防止」</mark> 安全管理の最重要テーマ



### フルハーネスの着用義務化へ

#### 2022(令和4)年1月2日~

墜落制止用器具(フルハーネス型)の着用を義務付ける法令が完全施行

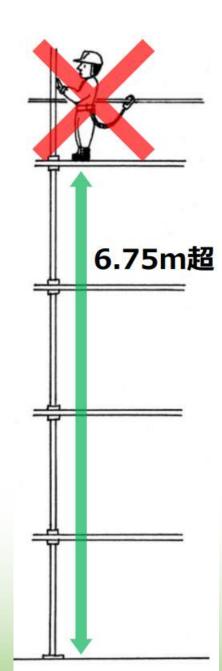
6.75m (建設業:5m)を超える高所での作業 ⇒フルハーネス型を着用

2m~6.75m(建設業:5m以下)での高所作業 ⇒胴ベルト型も着用可

#### 但し、

- ◆作業床がない箇所
- ◆作業床の端
- ◆開口部等で囲い・手すり等の設置困難な箇所
- ⇒フルハーネス型を着用

出典:厚生労働省 都道府県労働局 労働基準監督署 安全帯が「墜落制止用器具」に変わります!





### なぜ「安全帯」が「墜落制止用器具」に?

旧規格:「安全帯」 新規格:「墜落制止用器具」

従来の「安全帯」では救えない命がある

⇒身体へ負荷を軽減させるフルハーネスの普及を!

「墜落制止」 = 国際(ISO)規格用語

(フォールアレスト システム : fall-arrest systems)

転落時の衝撃を抑え留める器具 = 「墜落制止用器具」







### フルハーネスの着用だけで対策は十分?

#### 作業者の方の声

「フルハーネスを着用して高所に登っても、フックを掛ける先がない」

「仮設足場は建設時にはあるが、メンテナンスや点検時にはない」

「簡易な安全対策に命を預けられない」



「労働災害は絶対に起こしてはならない」

「どういう対策をすれば良いか分からない」

事業者と現場の 間にあるギャップ





### もう一つの転落防止対策

欧州(EN)規格

(レストレイント システム : restraint systems)

転落する恐れるのある危険箇所への接近を防止する





### 二段構えの対策を!

### ① レストレイント システム





### ② フォールアレスト システム



この2つを兼ね備えた高所安全対策が・・・



# 常設型転落防止システム「アクロバット」



### 「Akrobat (アクロバット)」とは?

- ・2005年にシンガポールで設立された高所安全対策のリーディングカンパニー
- ・シンガポールを中心にアジアで700以上の導入実績
- ・マリーナベイサンズをはじめ、世界を代表するランドマークに数多く採用





### 製品としての「アクロバット」の特長

- 1常設(本設)型・・・ステンレス・アルミニウムが主材料
- → 期待寿命10年! (※年1回点検実施前提、製品保証1年)

- ②欧州(EN)規格準拠品 …日本にはまだ規格が存在しない現状
- → ヨーロッパの強度基準を採用!





### 「アクロバット」の製品一覧

水平型ワイヤータイプ : 屋根上

- 垂直型ワイヤータイプ : タラップ(梯子)

・懸垂型ワイヤータイプ : 天井(H鋼等)

- AK Davis (懸垂型支柱シリーズ) : 屋外

・レールタイプ(水平・垂直・懸垂) : 屋根上・タラップ・天井

・キャットウォーク(歩廊)[ォプション] : 屋根上

•ハンドレール(手すり・柵)[ォプション]:屋根上













### 水平型ワイヤータイプの特長

①自由な配置設計が可能

②システム全体に衝撃吸収機構あり

③掛け替えが不要なパススル一機能





### 水平型ワイヤータイプの基本構成





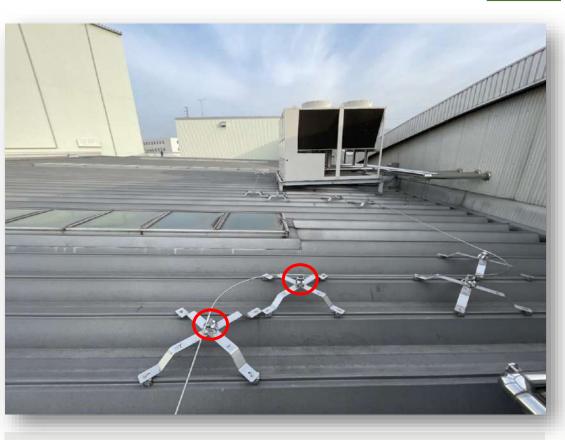


- ・8mm 中のステンレスワイヤーを中間・端部アンカーで支持
- 支持ピッチ…金属屋根: Max8m、鉄筋コンクリート: Max10m





### 自由な配置設計が可能



アンカー×2 ⇒ カーブを作ることも可能!

危険箇所へ近づけさせないレイアウト 作業者の歩行ルートを固定

### ⇒レストレイント







### システム全体に衝撃吸収機構あり

#### ショックアブソーバー



中間アンカー



#### 屋根固定金具(スパイダー)





墜落制止時に変形し衝撃を抑え留める

⇒フォールアレスト



### 強度について (引張試験)







試験後

#### 欧州 (EN) 規格 EN795/Class C

#### 試験条件:

アンカーに12kN(<mark>約1.2t</mark>)の荷重をかけ、 3分間保持すること (金具等の脱落無し)

屋根材:ハゼ式折板

結果:合格

場所:(株)G-Place

中部テクニカルセンター

(愛知県刈谷市)

#### 動画はコチラ!





### 強度について (落下阻止性能試験)



試験前



試験後

#### 仮設親綱と同試験

#### 試験条件:

10mスパンで100kgの重りを落下 金具等の脱落が無いこと

屋根材:ハゼ式折板屋根

結果:合格

場所:(一社)仮設工業会

東京試験場

(埼玉県所沢市)

#### 動画はコチラ!





# 掛け替えが不要!

### これがパススルー!





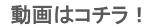
















# 水平型ワイヤータイプの導入事例















### 垂直型ワイヤータイプの特長

①あらゆるタラップに対応

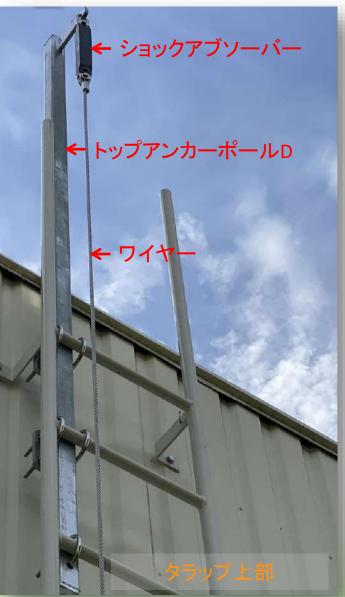
②スライダーのロック機能で疲労軽減

③頂上部での安全な脱着が可能





### 垂直型ワイヤータイプの基本構成



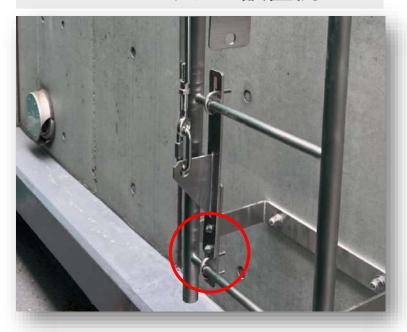


- 8mm Φ のステンレスワイヤーを上部と 下部で踏み桟固定(Uボルト)
- •9m以上は、中間にワイヤーホルダー を追加(振れ止め用)
- ・踏み桟固定が不可な場合は、支柱へ 穴あけ固定



### あらゆるタラップに対応

350mmピッチの設置例



L型支柱への穴あけ設置例



丸型支柱への穴あけ設置例



### 現場に合わせて特注部品も自社設計!



# スライダーのロック機能で疲労軽減

昇降中に腕を休ませることも可能 (※手を離すことは推奨しません)





### 頂上部での安全な脱着が可能

タラップを登り切る前にフルハーネスとの脱着をすると危険!

トップアンカーポールDがあることで、 タラップを登り切った後、安全にフルハーネスとの脱着が可能!









# 垂直型ワイヤータイプの導入事例

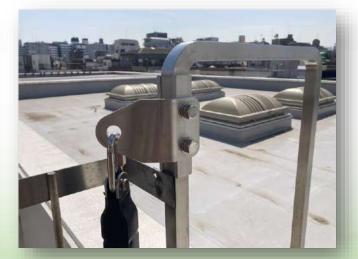














### 懸垂型ワイヤータイプの特長

①設置先に合わせた個別設計

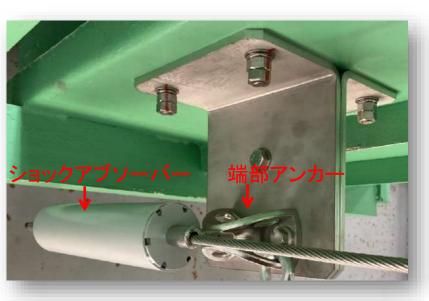
②システム全体に衝撃吸収機構あり

③掛け替えが不要なパススルー機能





# 懸垂型ワイヤータイプの基本構成







- ・8mm 中のステンレスワイヤーを中間・端部アンカーで支持
- ・支持ピッチ…5~7m (現場状況に応じて都度設計)
- ・設置先(H鋼等)の形状に合わせた特注プレートで固定



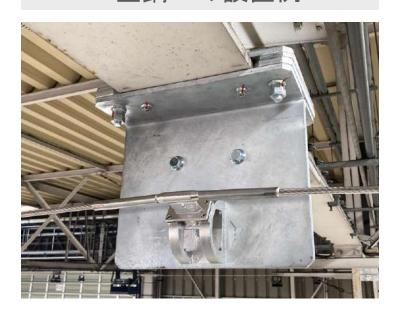


### 固定先に合わせた個別設計

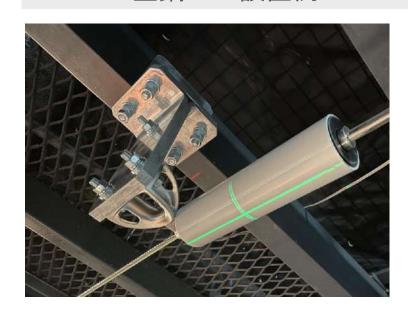
鋼板への設置例



H型鋼への設置例



C型鋼への設置例



現場に合わせて固定プレートを自社設計!



### システム全体に衝撃吸収機構あり

#### ショックアブソーバー



墜落制止時に変形し衝撃を抑え留める

⇒フォールアレスト



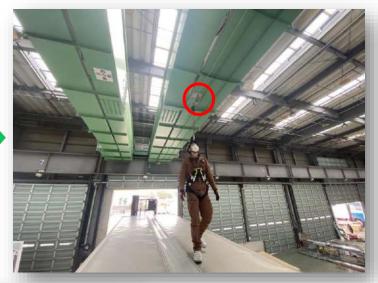
万が一の転落時の衝撃を抑える

# 掛け替えが不要!

### これがパススルー!













#### 動画はコチラ!





# 懸垂型ワイヤータイプの導入事例















### AK Davits (懸垂型支柱シリーズ)



重量固定タイプ(可搬式)

•高さ:6.5m、突梁:2.5m

•屋外設置可



動画はコチラ!



#### その他のタイプ



支柱タイプ



壁面固定タイプ



三脚タイプ



車重固定タイプ



### レールタイプ (水平・垂直・懸垂)

- ・アルミニウム製レール材
- ・体重を預けて使用可能







動画はコチラ!





### キャットウォーク(歩廊)

- ・アルミニウム製
- 折板屋根上を歩きやすく!





#### 動画はコチラ!





# ハンドレール (手すり・柵)

- •アルミニウム製
- ・軒先や開口部への侵入防止に!









### 補足説明

- ・アクロバットの設置工事は「とび・土工・コンクリート工事」に分類されます。(確認元:関東地方整備局)
- ・(株)G-Placeはアクロバット部材の総輸入販売元です。建設業の許認可を有しておりませんので、 税込5,000,000円を超える工事の場合は、(株)G-Placeが委託する工事会社にて施工させていただくこととなります。
- ・(株)G-Placeが施工しない場合は、(株)G-Placeもしくは(株)G-Placeが委託する工事会社が施工指導させていただきます。

施工指導にかかる費用については、都度見積とさせていただきます。

- ・アクロバットの一部の施工においては、専用工具が必要です。
- ・水平型ワイヤータイプを腰高より低い位置に設置する場合は、 第二種ショックアブソーバー付(タイプ2)ランヤードをご使用いただく必要がございます。
- ・垂直型ワイヤータイプは、胸部D環付きの墜落制止用器具(フルハーネス)をご使用いただく必要がございます。
- ・アクロバットは年1回の点検が必要となります。(対象外:キャットウォーク、ハンドレール) 点検は㈱G-Placeもしくは㈱G-Placeの協力会社が実施させていただきます。(点検費:都度お見積) ※2024年1月時点では、設置後1年間(1回分)の点検は㈱G-Placeが無償で実施させていただいております。





# ありがとうございました。 ご興味を持って頂いた方は是非ご連絡ください。

G-Place

株式会社G-Place 設備資材事業グループ

住所: 東京都中央区日本橋浜町3-45-3浜町野島ビル2F

TEL: 03-3527-2992

担 当: 中尾 典文、内藤 恵介

Email: ssg@g-place.co.jp

